

整形外科後期研修カリキュラム

整形外科においては、京都府立医科大学整形外科学教室の関連病院として、研修コースを設定しています。研修予定は以下の通りです。(詳細は京都府立医科大学整形外科学教室ホームページ参照)

- ① 幅広い整形外科の基本を集中的に学ぶため、またその学年におけるお互いのコミュニケーションをよくするため、1年目(卒後3年目)は原則として大学附属病院での研修とする。
- ② 1つの関連病院在籍は2年が目安であるが、研修状況に応じて柔軟に対応する。
- ③ 4年目(卒後6年目)以降の大学附属病院における研修では、各 subspeciality (関節外科、脊髄・脊髄外科、リウマチ外科、スポーツ整形、骨・軟部腫瘍、小児整形、上肢(肩・手)の外科など)の研修を中心に行なう。
- ④ 大学院は2年目(卒後4年後)以降を目安とする。ただし、1年目(卒後3年目)からでも強い希望があれば可。大学院在学中の留学は可。大学院卒業後は関連病院で研修する。
- ⑤ 留学は、相談のうえ随時決定する。

当院において単独の研修は行なっていませんが、関連病院での研修で当院を希望することは可能です。ただし、その際においても、大学の教室員として他の関連病院での研修を行なうことがあります。